

取付/取扱説明書

このたびは、「竿止め」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取付/取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。
お読みになった後は、大切に保管ください。

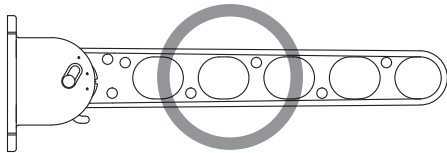
警告

この表示は、誤ると「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

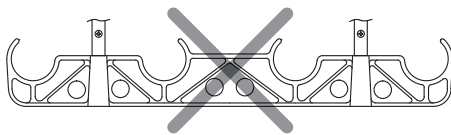
- 竿止めは竿の落下を防ぐための物なので絶対に竿から取外さない。
- 破損やけがの原因となるため竿にぶら下がるなどの無理な力はかけない。
- 竿止めがゆるんでいないか、定期的に確認し、ゆるんでいる場合は直ちにネジを締めなおす。
- ネジの締め付けが効かなくなったり、部品の腐食が著しい場合は新しい竿止めと交換する。

物干金物の適応タイプ

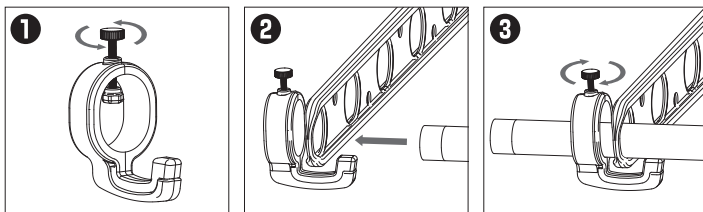
- 竿掛け部に開口の無い物干金物



- 竿掛け部に開口の有る物干金物



竿止めの取付け方法

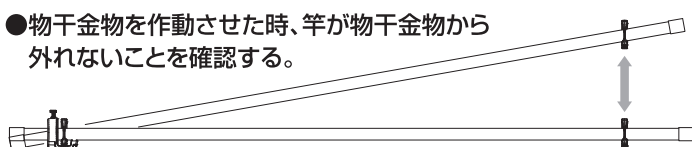


- 竿の端部キャップが通るくらいネジをゆるめる。
※ネジをゆるめすぎると押えが外れるので注意する。
- 図のように物干金具と竿止めの穴を合せ、竿を通す。
※竿に傷が付かないように注意する。
- 竿止めのネジを締め、竿止めと竿を固定する。
※ゆるみ、ぐらつき、外れない事を確認する。

- ネジの締めつけはペンチ等は使用せず、手で締めつけてください。
- ネジの締めつけ時に竿の材質や厚みにより竿が変形する可能性がありますので、注意して締めつけてください。

物干金物の作動確認

- 物干金物を作動させた時、竿が物干金物から外れないことを確認する。



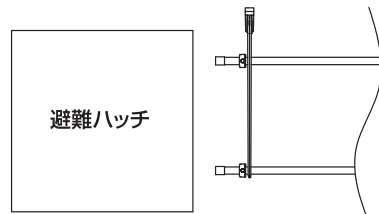
製品安全への取り組み

弊社では、当製品を安全にご利用いただける様に、「安全な製品情報表示システム」を取り入れて、当製品の取扱説明書を作成しています。詳しい情報はモバイルサイトへアクセスください。

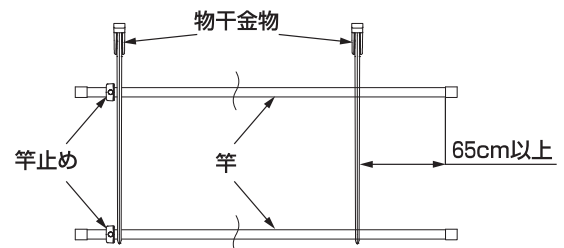
注意

この表示は、誤ると「傷を負うか又は、物的障害の可能性が想定される」内容です。

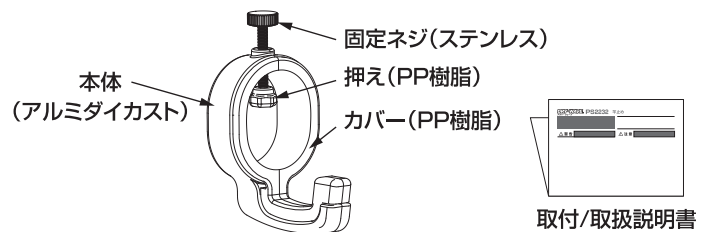
- 竿の直径が22～32ミリ以外の竿には取付けできません。
- 竿止めを物干金物の両側に取付けた場合、物干金物の片側ずつの操作ができなくなる為、竿止めは片側だけに取付ける。
- 非常用避難ハッチ、または避難はしごがある場合、竿の位置が避難時の妨げにならない事を確認して取付ける。



- 竿の長さが短いと物干金物を片側ずつ作動させた時に竿が外れることがありますので下図の長さを守る。
※下図の竿の長さは目安です。取付け後、竿が外れない事を確認する。



部品一覧



お手入れ方法

- 汚れは水で濡らして固く絞ったやわらかい布などでふきとる。しつこい汚れは、中性洗剤を含ませた布でふいた後、水で濡らして固く絞った布などでふきとる。

- 本製品を掃除する際、シンナー、ベンジンまたはアルコール及び有機溶剤を含むガラスクリーナーなどは使用しない。
- ネジのゆるみ、ぐらつきが無いが、定期的に点検し、異常があった場合は使用を中止する。



タカラ産業株式会社

〒577-0013
大阪府東大阪市長田中2丁目2番30号 長田エミネスビル2F
TEL (06) 7711-3080
http://www.takaranet.co.jp